

# One日本企業米ドル建て債券ファンド2022-09

## <愛称：ドルのめぐみ2022-09>

単位型投信／海外／債券

### 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本企業（その子会社および関連会社を含みます。）が発行する米ドル建ての社債（投資適格未満の債券を含みます。）を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目的として、運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2022年9月30日～2023年9月27日

第1期	決算日：2023年9月27日	
第1期末 (2023年9月27日)	基準価額	10,530円
	純資産総額	899百万円
第1期	騰落率	6.4%
	分配金合計	105円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。  
(注2) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

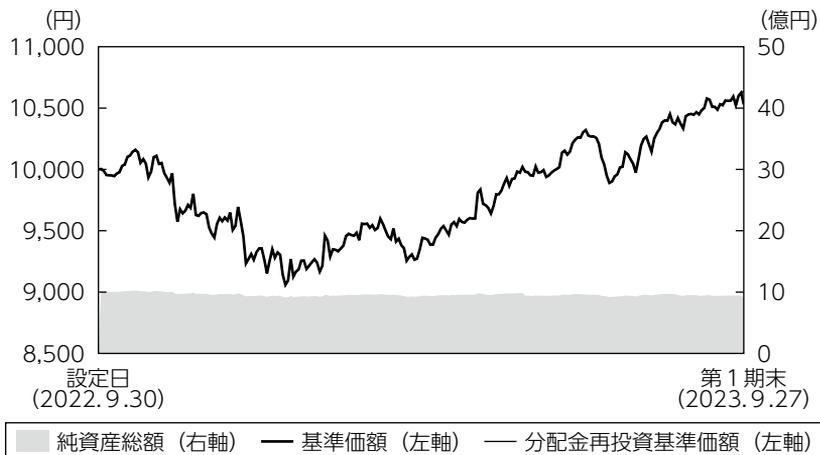
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



設定日：10,000円  
 第1期末：10,530円  
 (既払分配金105円)  
 騰落率：6.4%  
 (分配金再投資ベース)

(注) 設定日の基準価額は、設定当初の金額です。

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。単位型投資信託の分配金は実際には再投資されませんのでご注意ください。
- (注2) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

基準価額は上昇しました。日米の金融政策格差を背景に、米ドルに対して円安が進んだことに加え、日本企業が発行する米ドル建て社債の組入れによるインカム収益が、基準価額の上昇要因となりました。

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第 1 期		項目の概要
	(2022年9月30日 ～2023年9月27日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	89円	0.908%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,811円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(43)	(0.438)	
(販売会社)	(43)	(0.438)	
(受託会社)	( 3)	(0.033)	
(b) その他費用	2	0.018	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(保管費用)	( 1)	(0.013)	
(監査費用)	( 0)	(0.003)	
(その他)	( 0)	(0.001)	
合計	91	0.926	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

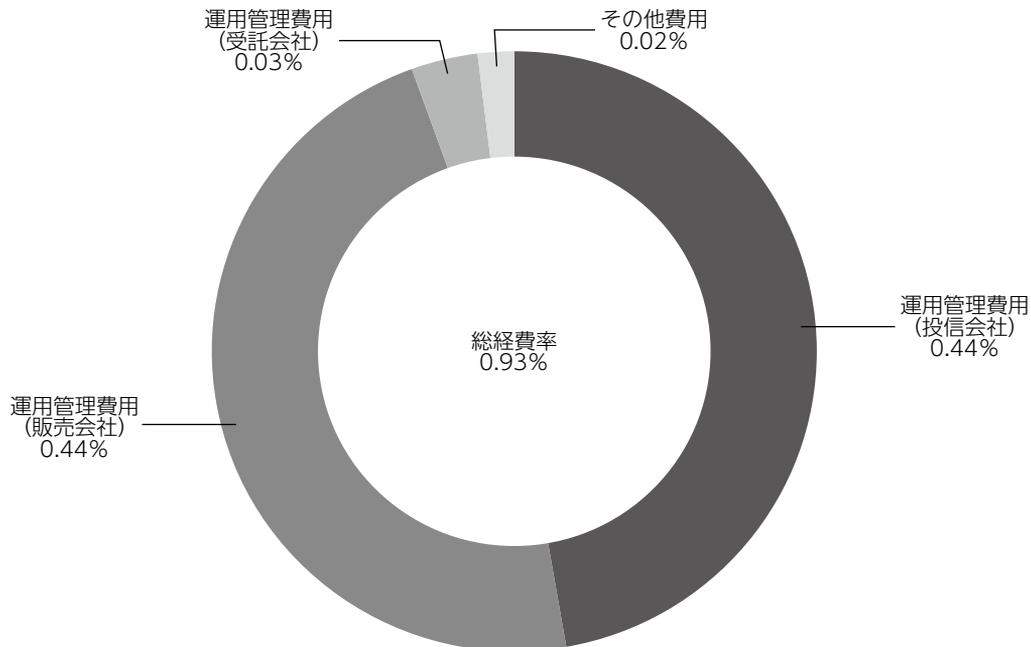
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

**(参考情報)**

## ◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.93%です。



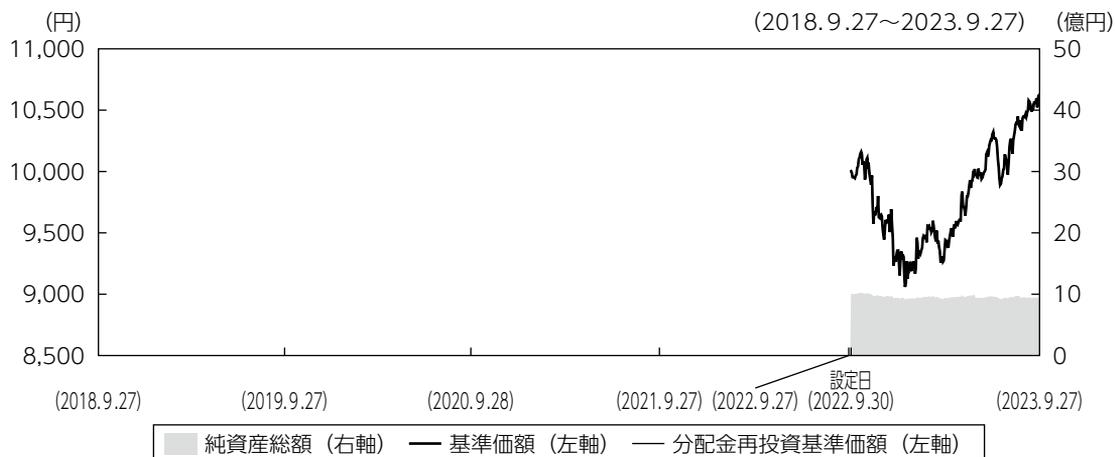
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。単位型投資信託の分配金は実際には再投資されませんのでご注意ください。

(注2) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。

		2022年9月30日 設定日	2023年9月27日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	10,000	10,530
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	105
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	6.4
純資産総額	(百万円)	1,008	899

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークは定めておりません。

## 投資環境

米国債利回りは上昇（価格は下落）しました。欧米の金融システム不安から利回りが低下（価格は上昇）する局面はあったものの、中央銀行の目標を上回る高いインフレ状況が続く中、タカ派的な金融政策姿勢が続いたことが主な要因となりました。

米社債のクレジットスプレッド（国債との利回り格差）は、欧米の金融システム不安から一時拡大する局面はあったものの、底堅い米国景気や、投資家の堅調な需要を背景に縮小しました。

為替市場では、米ドルに対して円安となりました。2023年1月にかけては、米国の金融引き締めペースの鈍化期待などから、円高傾向となりました。しかし、日銀が金融緩和的な政策を維持する中、堅調な米国景気を背景に、米国の金融引き締めの長期化観測が高まると、内外の金融政策格差が意識され、円安に繋がりました。日銀は、2023年7月会合において政策修正を実施し、事実上金融政策の正常化への歩みを進めましたが、円安傾向は変わりませんでした。

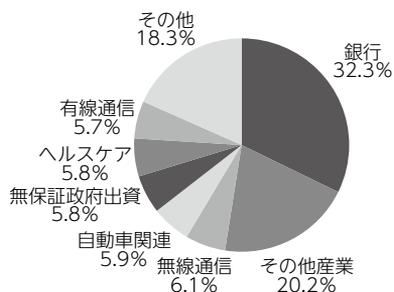
## ポートフォリオについて

銘柄選択については、日本の企業、政府関係機関ならびに地方自治体などが発行する米ドル建て債券の中から、利回り水準や取引コストも考慮し、今後の経済環境にかかわらず相対的に高い債務支払い能力を維持すると見られる、日本を代表する企業を中心に、当初ポートフォリオの構築を行いました。当ファンドは、原則として投資を行う債券を満期日まで保有しますが、期中の解約対応として、保有債券の売却も実施しました。

### 【運用状況】 2023年9月27日現在

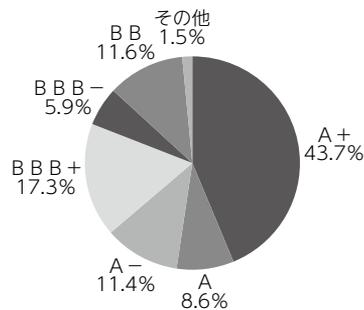
※比率は純資産総額に対する割合です。

#### ○業種別比率



- (注1) 業種は、ブルームバーグの基準に基づいています。  
 (注2) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。  
 (注3) 現金等はその他として表示しています。

#### ○格付別比率



- (注1) 格付けは、格付機関（S & P、Moody'sおよびFitch）による上位のものを採用しています。また、S & Pの表記方法にあわせて表示しています。  
 (注2) 現金等はその他として表示しています。

## 分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、1万口当たり105円（税引前）とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

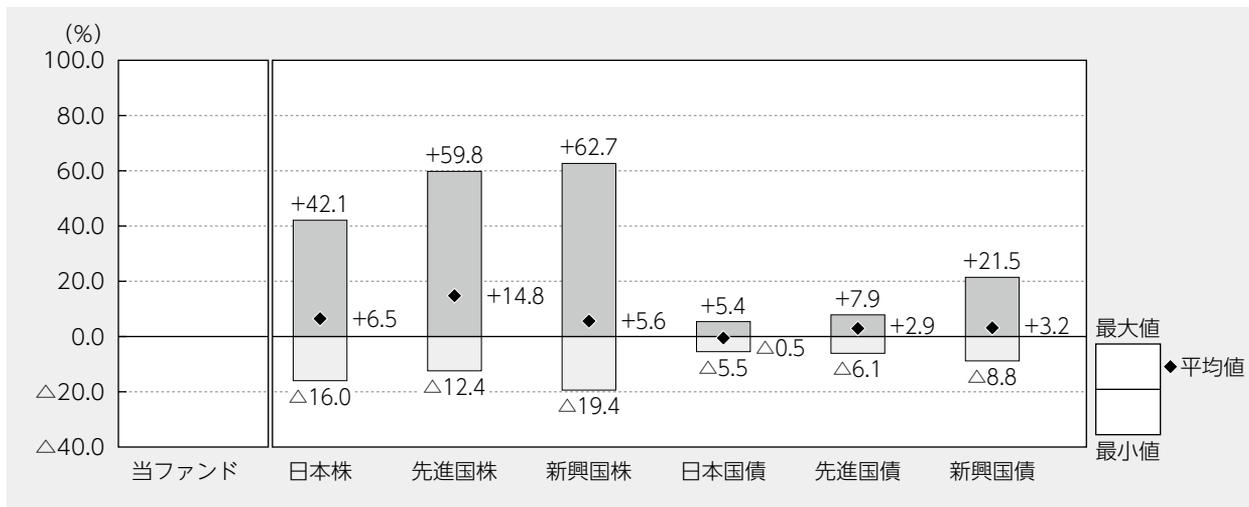
## 今後の運用方針

原則として、投資を行う債券を満期日まで保有することで、安定した利子の獲得をめざし、利子、償還金については再投資を検討します。また、原則として為替ヘッジは行いません。

## 当ファンドの概要

商品分類	単位型投信／海外／債券
信託期間	2022年9月30日から2027年9月27日までです。
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目的として、運用を行います。
主要投資対象	日本企業（その子会社および関連会社を含みます。）が発行する米ドル建ての社債を主要投資対象とします。
運用方法	<p>主として日本企業（その子会社および関連会社を含みます。）が発行する米ドル建ての社債（投資適格未満の債券を含みます。）に投資を行います。</p> <p>また、わが国の政府関係機関ならびに地方自治体などが発行する米ドル建て債券にも投資を行う場合があります。</p> <p>債券への投資にあたっては、主として信託期間終了前に満期償還が見込まれる債券に投資を行います。</p> <p>ポートフォリオの平均格付けは、構築時においてA-格相当以上をめざします。ただし、市場環境によっては、これを下回る場合があります。</p> <p>原則として、当ファンドは投資を行う債券を満期日まで保有することで、金利変動リスクを低減し*、安定した利子の獲得をめざします。ただし、信用リスク、利回り向上等の観点から、満期日前に保有債券を売却する場合があります。</p> <p>*当ファンドを途中換金した場合には金利変動の影響を受けます。</p> <p>組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。</p> <p>保有債券が信託期間中に満期償還される場合または償還日前に売却される場合には、信託期間終了前に満期償還が見込まれる別の債券に投資する場合があります。</p> <p>運用にあたっては、債券の発行体の信用力、バリュエーション、流動性に基づき投資魅力度の高い銘柄を選定しながら、分散投資によりリスクの低減を図ります。</p> <p>当初設定時および償還準備に入った場合には、組入資産の流動性等を考慮して、米国債への投資を行う場合があります。</p> <p>ポートフォリオの米ドルベースでの実質的な平均最終利回り*<sup>1</sup>は構築時において、年3%程度*<sup>2</sup>*<sup>3</sup>の水準をめざします。</p> <p>*1 実質的な平均最終利回りとは、当ファンドにかかる信託報酬等の費用を控除した後の利回りをいいます。</p> <p>*2 ポートフォリオ構築時の市場環境によって債券利回りが低下した場合、ポートフォリオ構築後に組入債券がデフォルトした場合、ファンドの償還日まで売却されたり満期を迎えたりした債券の再投資を行う場合に利回りが低下していた場合、信託期間中に当ファンドを換金した場合などには、年3%程度の水準を下回る場合があります。</p> <p>*3 組入外貨建資産について原則として為替ヘッジを行わないため、円ベースでの利回りは為替変動の影響を受けます。</p> <p>なお、当水準は将来の運用の成果を示唆および保証するものではありません。</p>
分配方針	決算日（原則として9月27日。休業日の場合は翌営業日。）に、元本超過額または経費控除後の配当等収益のいずれが多い額の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンド : 2023年8月末現在、設定後1年を経過していないため、データはありません。

代表的な資産クラス : 2018年9月~2023年8月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

### \*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

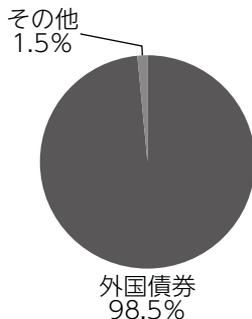
### 当ファンドの組入資産の内容（2023年9月27日現在）

#### ◆組入上位10銘柄

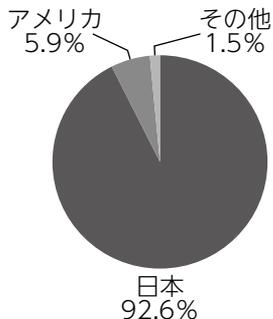
銘柄名	通貨	比率
SOFTBANK GROUP CORP 4.0 07/06/26	アメリカ・ドル	6.1%
NISSAN MOTOR ACCEPTANCE 1.85 09/16/26	アメリカ・ドル	5.9
MARUBENI CORP 1.577 09/17/26	アメリカ・ドル	5.9
NORINCHUKIN BANK 1.284 09/22/26	アメリカ・ドル	5.8
CENTRAL NIPPON EXPRESSWY 0.894 12/10/25	アメリカ・ドル	5.8
CHIBA BANK LTD 1.35 09/08/26	アメリカ・ドル	5.8
OLYMPUS CORP 2.143 12/08/26	アメリカ・ドル	5.8
SUMITOMO MITSUI FINL GRP 2.174 01/14/27	アメリカ・ドル	5.7
SUMITOMO CORP 1.55 07/06/26	アメリカ・ドル	5.7
MIZUHO FINANCIAL GROUP 3.663 02/28/27	アメリカ・ドル	5.7
組入銘柄数	18銘柄	

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

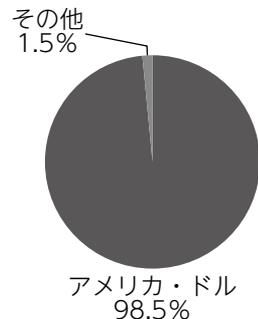
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。

## 純資産等

項目	当期末
	2023年9月27日
純資産総額	899,243,774円
受益権総口数	853,960,036口
1万口当たり基準価額	10,530円

(注) 当期中における解約元本額は154,178,501円です。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

